



世界メジャーとの対等性

クロダインターナショナルコンサルティング

黒田 毅

日本企業において世界メジャーとの対等性は夢である。その企業内容を同じく求めることで、それは可能であると考えます。

財務体質、余剰資金の確保、企業効率性、先端性において、同じ現実を有することがそれらの現実を与えるのである。

また社会活動とともに、責任という参加は必達の条件である。

これらは国際性や社員の能力、市場認識と参加、企業内容、グローバル基準の受け入れなど、隷属性でない独立性と自立は、対等な関係を市場において可能とできるのである。

これら国際市場における自己プレゼンスは、西洋社会における責任における参加なのである。

これらは既存の日本の風土から革命的变化を自己に要求することなのである。しかしこれらブレークスルーは、グローバル企業における必要性であると考えます。

同じ自己基盤は、未来という飛躍を可能とできるため、これら現実は無視できないものである。

これらは、先端 MBA 基準を牽引しなくてはならない。それはその全ての学習を自己に求められるということなのである。

これらは世界のエリートたちとの対等な関係構築において証明できるのである。彼らの知性への到達は、幹部社員における必要性であると考えべきである。

同じ知性における対話は、相互利益における新しい関係を世界へ提案できるのである。